

現代ビジネス学部
SHIGA Ryoichi
PROFILE
職名 現代ビジネス学部 現代マネジメント学科教授 入学部長
学歴 東京都立大学大学院人文科学 研究科仏文専攻博士課程 単位取得後退学（1978）
学位 文学修士（東京都立大学、 1974）
専門分野 ヨーロッパ・アメリカ女性 文化史

志賀 亮一

しが りょういち

研究課題1 ●ヨーロッパ・アメリカ女性史と歴史学の方法論（女性史、性別役割、ジェンダー）

業績

【著書】

『エンプソン入門—Seven Types of Ambiguity—』／「第1章の研究と註釈」、北星堂書店、1972年11月、共著。
『文学のシチュアション—新しい地平を求めて—』／青山社、1980年6月、共著。
『現代文学理論を学ぶ人のために』／世界思想社、1994年10月、共著。

【論文】

『『消しゴム』の二重構造』／『人文学報』110、東京都立大学人文学部、1976年3月、単著。
「写実主義の終焉をめぐる—アラン・ロブ＝グリエ『迷路の中で』を中心として—」／『橘女子大学研究紀要』第6号、1979年2月、単著。
『『秘密の部屋』の秘密—その構造と意味するもの—』／『橘女子大学研究紀要』第10号、1983年7月、単著。
「小説における時間と空間—ミシェル・ビュートルの小説理論から（その一）」／『橘女子大学研究紀要』第14号、1987年12月、単著。
「小説における語り—ミシェル・ビュートルの小説理論から」／『外国文学研究』第87号、立命館大学外国語連絡協議会、1989年3月、単著。
『『ル・ソワール』紙におけるポール・ド・マン』／『NEW PERSPECTIVE』第153号、新英米文学研究会、1991年6月、単著。
「女性文化と女性史: L'HISTOIRE DES FEMMES EN OCCIDENT 翻訳ノート」／『京都橘女子大学女性歴史文化研究所紀要』第3号、1995年3月、単著。

【翻訳】

『ソ連邦の歴史Ⅱ スターリン・秩序と恐怖』（H・カレール＝ダンコース著）／新評論、1985年6月、単著。
『フランス 文学と批評』（ロジェ・ファイヨル著）／三修社、1986年7月、共著。
『女性史は可能か』（ミシェル・ペロー編）／藤原書店、1992年5月、共著。
『女のイメージ—図像が語る女の歴史』／藤原書店、1994年3月、共著。
『女の歴史Ⅰ～Ⅴ』（G・デュビイ M・ペロー編）／藤原書店、1994年5月～2001年3月、共著。
『読む事典・女性学』（H・ヒラータ他編）／藤原書店、2002年10月、共著。
『エカテリーナ二世 上・下 十八世紀、近代ロシアの大成者』（H・カレール＝ダンコース著）／藤原書店、2004年7月、単著。

【講演】

「女性史は可能か」／出版記念講演会、京都橘女子大学アッセンブリーアワー、1992年7月、共同。

「ヨーロッパ女性史研究の最前線」／歴史文化ゼミナール、京都橘女子大学、2003年9月、単独。